

鶴見川

おんまわし 恩廻公園調節池が完成しました

鶴見川の総合的な洪水対策の一つとして、川崎市と町田市にまたがる恩廻公園の地下を利用したトンネル式の調節池が完成し、記念式典とイベントが行われます。

鶴見川は、現在1時間に50ミリの雨が降っても大丈夫なように整備されていますが、より安全な川

記念式典とイベント

日時 6月15日(日)午前9時40分～午後3時
場所 恩廻公園調節池(一部三輪町)

内容 消防音楽隊・和太鼓演奏
・模擬店・フリーマーケット・ゲートボール・トンネル見学会
交通 小田急線「柿生」駅北口4番乗り場より、柿23系統、市が尾駅行き・柿25系統、鴨志田団地行き・柿22系統、桐蔭学園行き、



また、東急田園都市線「市が尾」駅北口9番乗り場より、柿23系統、柿生駅北口行きのバスで「東京服飾造形短大入口」下車、駐車場はありません。バス等公共交通機関でおいで下さい。

問 神奈川県川崎市水務事務所 ☎04-932-7211

ひっそり生きる町田の自然

(その22) ヒメジヨオン

野っばらの主役

野っばらの主役は、季節と共に変わる。梅雨時はもつぱらヒメジヨオンがその座を占める。盛夏の頃は、オオアレチノギクやヒメムカシヨモギが主役となり、道端や空き地などの野っばらに生える植物は、ほとんどが帰化植物だ。

ところで、1か月前の5月はどんな植物が主役だったろうか。答えはちよつと今、白い花をたくさん咲かせているヒメジヨオンだ。



ヒメジヨオン(平成15年5月25日撮影)

ヨオン(ヒメ)に、とても良く似たハルジオン(ハル)だ。この二つは慣れないと、区別するのは難しいが、その違いを知ることが、自然観察の楽しみの一つだ。

いくつかの違いを挙げると、まず、蕾のつき方が違う。ハルの若し蕾は、下向きにタフリと垂れているが、ヒメは上向きにシヤンとしている。

つぎに、葉のつき方が違う。ハルの葉は、茎に接する部分が耳たぶ状で、茎を包むが、ヒメは細い葉柄が茎と接する。

三つ目は、茎の中が違う。中を見るために茎を折ると、ハル

の中が空洞でストローの代用になるが、ヒメの茎は中が詰まっている。

もう一つは、花期がひとつき程ずれることだ。四月の末頃から五月にかけて、ひときわ美しく咲き競つのがハルジオン。

白花だけではなく、ピンク色の可憐な花もよく見かける。

同じ場所に、5月の末頃から、端正でシャキッとした姿で白く薄紫のヒメジヨオンが咲き始め、六月には、この花一色となる。花期は長く、だから秋まで見られる。

ヒメジヨオンは明治時代に、ハルジオンは大正時代に共に北アメリカから渡来してきた。これらは、人と行動を共にし、旺盛な繁殖力も手伝って、全国に広く分布していて、鉄道草とも言われている。ひっそり生きる、と正反対の生き方をしていく代表種でもある。

今年も早、谷戸ではゲンジボタルが舞う季節となった。

草の葉を
落ちるより飛ぶ蜜かな
(芭蕉)

南大谷・長島靖彦

2002年度

河川・大気質調査結果がまとまりました

市では、毎年河川調査及び道路交差点等における大気質調査を行っています。このほど、2002年度の調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

河川調査結果

【調査の目的・概要】

市内にある三河川(境川、鶴見川、恩田川)の水質調査を、年4回実施しています。

この調査は、工場や家庭からの排水等による河川の汚濁状況を把握し、基礎資料とすることを目的としています。

大気質調査結果

【調査の目的・概要】

2002年度は、02年4月、7月、10月、03年1月に実施しました。

この調査は、自動車等の移動発生源による大気汚染状況を把握し、基礎資料とすることを目的としています。

【調査結果】(表1)

調査地点	pH	BOD (mg/l)
境川環境基準値	6.0~8.5	8以下
風戸橋	7.1	0.5
二国橋	7.6	2.2
稲荷橋	7.4	4.4
坂本橋	7.6	5.1
高橋	7.6	5.1
根岸橋	7.3	3.7
檜橋	7.7	2.7
境橋	7.7	2.4
鶴間橋	7.4	2.3
鶴間一号橋	7.6	2.4
恩田川環境基準値	6.5~8.5	5以下
稲荷坂橋	7.4	1.8
三蔵寺橋	7.7	0.9
都橋	8.7	1.0
鶴見川環境基準値	6.0~8.5	8以下
桜橋	7.7	1.4
猪の堰	7.6	1.6
鶴見橋	7.7	2.6
袋橋	7.8	2.5
下川戸橋	7.8	2.7
岡上橋	7.8	2.4
四ツ木橋	7.5	2.0

備考
pH 水素イオン濃度のこと、中性が7.7より小さいほど酸性が強く、大きいほど(14まで)アルカリ性が強い。
BOD 生物化学的酸素要求量のこと、水中の有機物が微生物によって一定時間内に分解されるときに必要な酸素量。数値が高いほど汚濁がひどい。

2002年度大気質調査結果(表2)

測定項目	二酸化窒素 (ppm)		一酸化炭素 (ppm)		浮遊粒子状物質 (mg/m³)		二酸化硫黄 (ppm)		ベンゼン (mg/m³)		トリクロロエチレン (mg/m³)		テトラクロロエチレン (mg/m³)	
	1日平均値	適否	1日平均値	8時間値の最高値	1日平均値	1時間値の最高値	1日平均値	1時間値の最高値	24時間値	適否	24時間値	適否	24時間値	適否
大戸交差点	0.029	-	0.8	1.0	0.031	0.059	-	-	0.0024	-	0.0005	-	0.0001	-
小山交差点(小山駐在所)	0.031	-	1.1	1.3	0.028	0.065	-	-	0.0034	×	0.0016	-	0.0004	-
根岸交差点	0.040	-	1.5	2.1	0.045	0.080	-	-	0.0048	×	0.0018	-	0.0021	-
多摩丘陵病院バス停	0.030	-	1.4	2.0	0.057	0.102	-	-	0.0037	×	0.0012	-	0.0005	-
袋橋交差点	0.034	-	1.3	1.7	0.046	0.103	-	-	0.0041	×	0.0019	-	0.0007	-
鶴川駅東口交差点	0.044	-	2.1	3.5	0.068	0.130	-	-	0.0055	×	0.0013	-	0.0005	-
今井谷戸交差点	0.037	-	2.1	3.2	0.056	0.112	-	-	0.0062	×	0.0013	-	0.0005	-
小田急線町田駅前(西口)	0.064	×	1.4	2.1	0.03	0.064	-	-	0.0038	×	0.0013	-	0.0083	-
成瀬センター前交差点	0.042	-	1.8	2.7	0.05	0.091	-	-	0.0062	×	0.0015	-	0.0010	-
国道246号大和バイパス	0.056	-	1.8	2.8	0.066	0.105	0.004	0.006	0.0044	×	0.0017	-	0.0007	-
環境基準	0.06以下	-	10以下	20以下	0.10以下	0.20以下	0.04以下	0.1以下	0.003以下	-	0.2以下	-	0.2以下	-

車道等の通常生活していない場所については環境基準が適用されないため、比較参考とします。